



《特集》 ～吉野川総合開発事業 50 周年を迎えて～

■ 始めに

令和7年に、吉野川総合開発事業の主要施設である早明浦ダム・池田ダム・新宮ダムが管理開始50年の節目を迎えました。

吉野川総合開発事業は、昭和20年代中頃から、戦後復興や新たな産業を興すことを目的とした水資源開発の機運の高まりを受け、事業実現に向けた検討が開始されました。その後、「四国はひとつ」という共通認識のもと、四国4県等関係機関の協力により、立場の違いを乗り越えた調整によって大きく進展し、地域の悲願であった吉野川総合開発事業が実現しました。

また、早明浦ダムを中核とする吉野川総合開発事業では、4県に農業用水・水道用水および工業用水を供給するとともに、ダムによる洪水調節と併せて吉野川下流で実施された築堤等の治水事業により、洪水被害の低減を図ってきました。本特集では、吉野川総合開発事業50周年における管理経過報告を掲載します。50周年を記念した式典や交流イベントについては、本号の「川のトピックス」に記事を掲載しておりますので、あわせてご覧下さい。

■ 背景

ご存じのとおり、四国地方は四国山地を挟んで北側は日本でも有数の少雨地帯、逆に南側は日本有数の多雨地帯となっています。このため、同じ四国という地域にありながら、北四国では安定的に使える水の確保が、南四国では洪水への対応が課題となっています。

徳島県では日本三大暴れ川と言われる吉野川からの浸水被害の低減や農業用水等の安定確保が望まれ、香川県では農業・生活用水の不足が深刻であり、愛媛県では幕末の頃より農業用水として銅山川からの分水が渴望されていました。

また、戦前戦後の頃より四国の各地域において工業の発展や電力の安定供給、経済基盤の強化が求められてきました。



▲四国4県の水事情

その後、平成13年には富郷ダムが完成し、主要施設は出そろったものの、平成16、17年などには記録的な出水が、また、平成6年をはじめ大洪水が度々起こるなど、吉野川では解決すべき水問題が残った状況でしたが、治水の問題を先行して解決すべく、平成30年には早明浦ダム再生事業がスタートしています。

- 早明浦ダム : 昭和42年建設着手、昭和48年完成
- 池田ダム : 昭和43年建設着手、昭和50年完成
- 新宮ダム : 昭和45年建設着手、昭和50年完成
- 富郷ダム : 昭和57年建設着手、平成13年完成
- 今切川河口堰 : 昭和46年建設着手、昭和49年完成
- 旧吉野川河口堰 : 昭和48年建設着手、昭和50年完成
- 瀬戸川・地蔵寺川取水堰 : 昭和48年建設着手、昭和53年完成



▲吉野川総合開発事業における主要施設

■吉野川総合開発の恩恵

四国4県に農業用水や水道用水が供給され、特に少雨地域である香川県は恒常的な水不足が緩和されました。

- ◇ **四県に農業用水、水道**が供給されています。
- ◇ 特に少雨地域である香川県においては吉野川からの水により、**恒常的な水不足が緩和**しました。
農業においては、**安定的に収益性の高い営農**が、水道については**普及率が99.3%に達し**、ほぼ全ての家庭で安全で安定した水が利用可能になりました。



基図の出典：独立行政法人水資源機構吉野川本部Website



昭和48年 給水の状況
自衛隊も出動
(四国新聞社提供)



昭和48年 給水車に行列
(高松市)



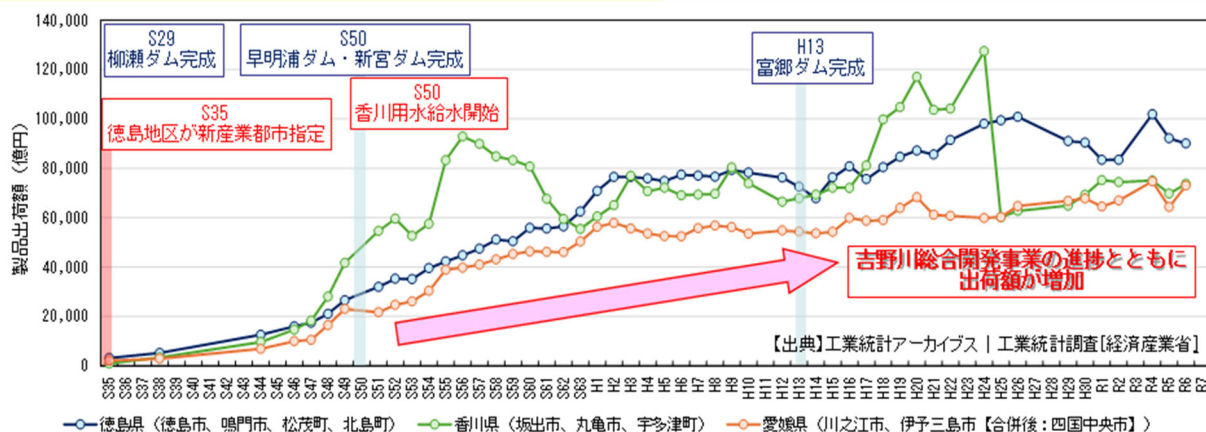
香川用水

▲吉野川総合開発事業の恩恵（香川県）

工業用水は愛媛県、徳島県、香川県に供給され、愛媛県四国中央市は製紙業、徳島県では薬品や食品が、化学工業は香川県、徳島県で発展しています。

◇ 吉野川総合開発事業により愛媛分水、香川用水および北岸用水が整備されたことにより工業用水が供給され、**水を必要とする工業が発展しました。**

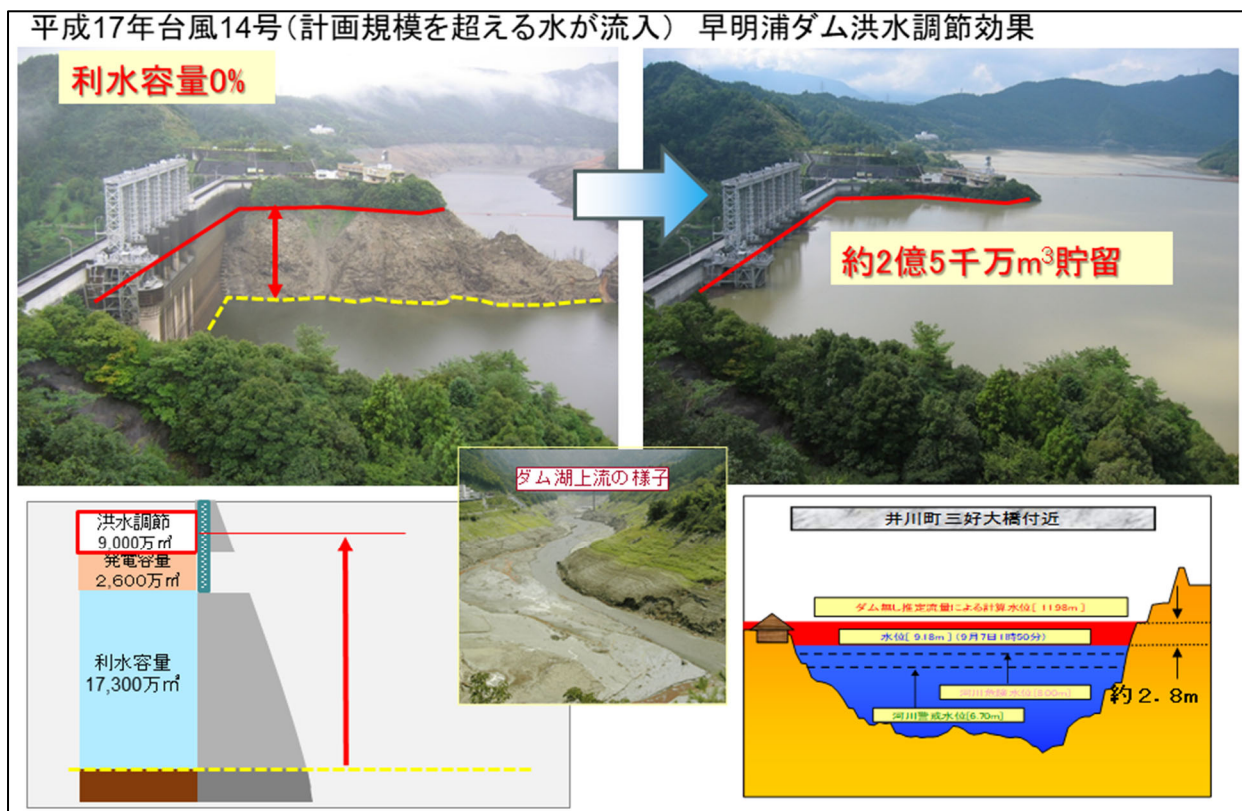
◇ 四国中央市では製紙業、徳島県では薬品、食品、化学工業、香川県では化学工業が発展しました。



▲吉野川総合開発事業の恩恵(工業用水)

■平成17年台風14号における早明浦ダムによる治水効果

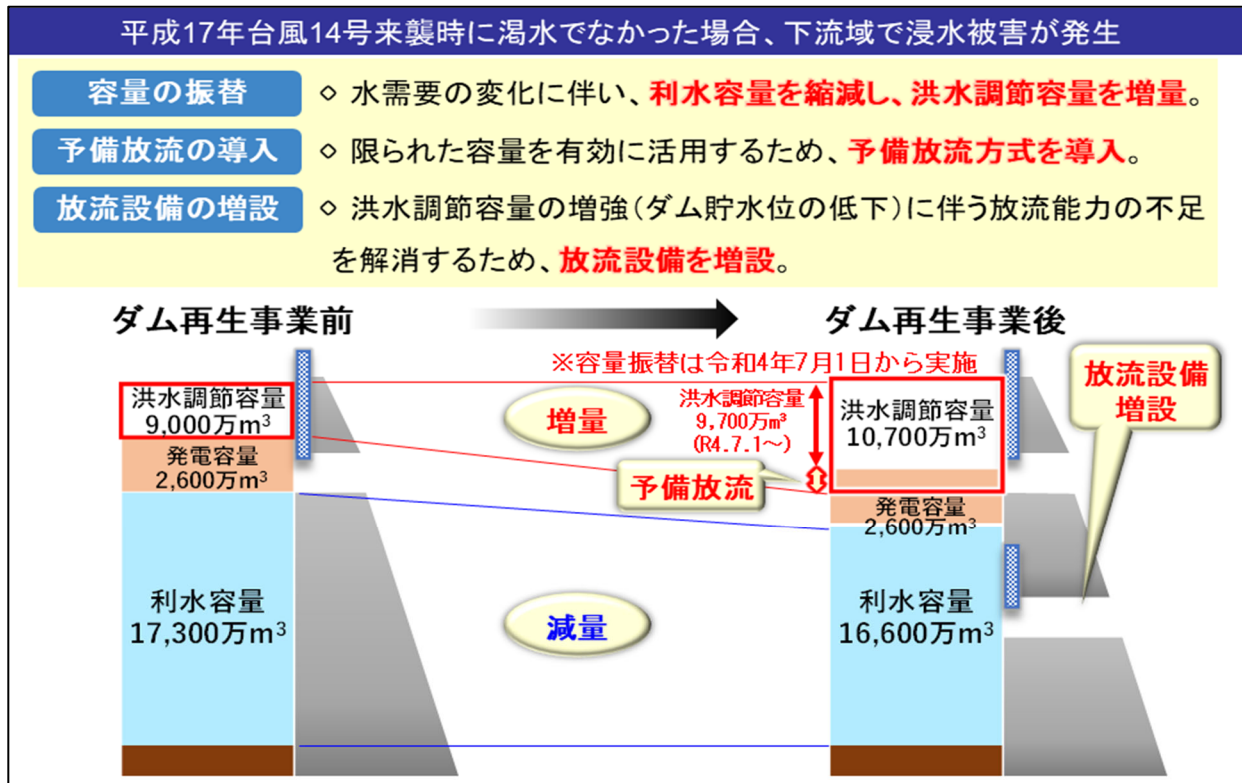
平成17年台風14号の襲来時は大洪水で利水容量が0%であったため、洪水の大部分をダムに貯めたことにより、下流の被害を抑えることができました。一夜にして貯留した水は約2億5,000万 m^3 で、三好市の三好大橋付近では河川水位を約2.8m低下させたと試算しています。一方、この時はたまたま洪水でしたが、仮に洪水でなかったならば、下流域で浸水災害が発生したと推察されます。



▲平成17年台風14号における早明浦ダムの貯留状況と下流河川の水位低減効果

■ 早明浦ダム再生事業

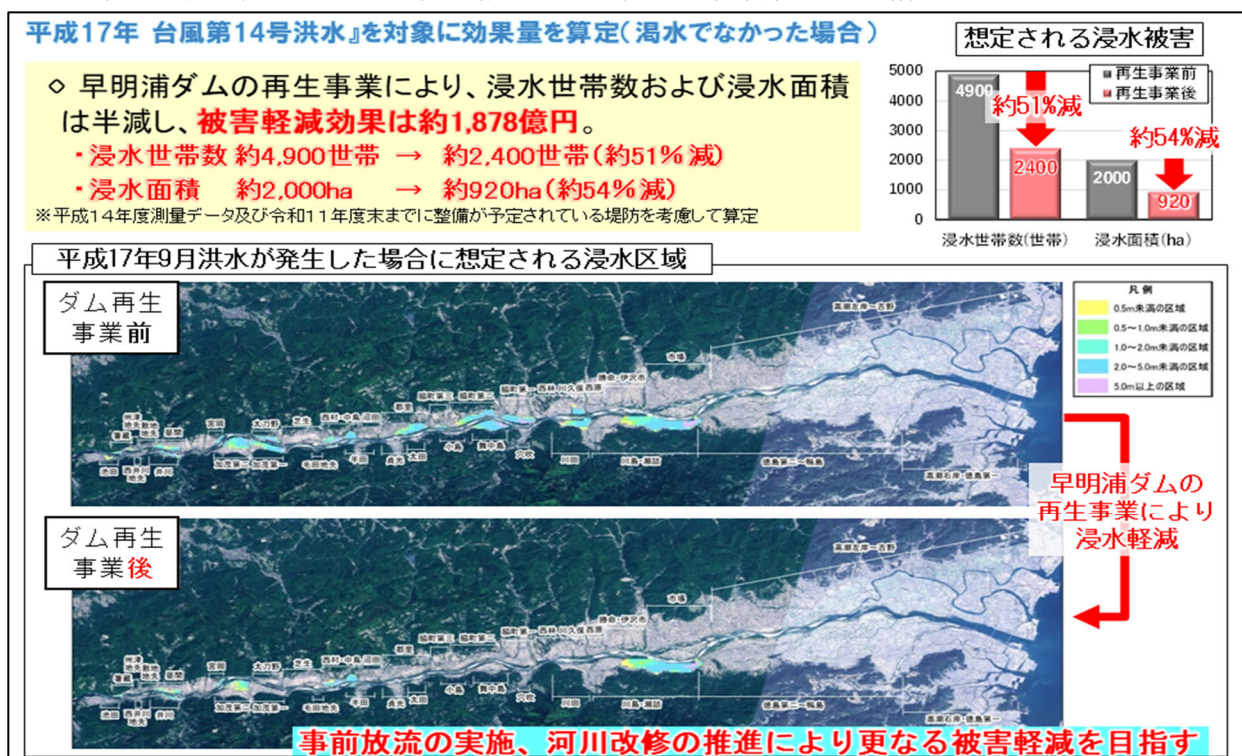
このような状況に対応すべく、現在、早明浦ダム再生事業により治水機能向上のための工事が進められています。洪水調整のため容量9,000万 m^3 を、利水運用の見直しや予備放流により1億700万 m^3 まで増やし、その運用のために、現ゲートより下部に放流設備を増設しています。



▲ 早明浦ダム再生事業の概要

以下に示す資料において、渇水ではない状況で平成17年台風14号洪水が発生した場合における早明浦ダム再生事業前の浸水区域図を上段に、早明浦ダム再生事業後の浸水区域図を下段に示します。浸水世帯数は約4,900世帯から2,400世帯へ軽減、同様に浸水面積も半数以下に軽減し、被害軽減額は約1,878億円と試算しています。

なお、事前放流の実施や河川改修の推進により更なる被害軽減を目指しています。



▲ 早明浦ダム再生事業による吉野川沿川の浸水被害軽減効果

■ 水源地活性化の取組

吉野川総合開発事業で建設された早明浦ダム等は、水源地域の方々のご理解とご協力が無くては完成できませんでしたし、運用も成り立ちません。

現在、水源地域では地域活性化のため、様々な取組がなされていますが、この50周年を契機に更なる取組を、上下流の皆様や関係機関と一緒に推進することが重要です。

<p>やまびこカーニバル</p> <p>花火大会</p> 	<p>水上スポーツによる賑わい創出・活性化にも貢献</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>ラフティング世界選手権2017 日本大会</p>  </div> <div style="flex: 1;"> <p>池田ダム湖での ウェイクボード</p>  </div> </div>	
<p>水源めぐりの旅(香川県)</p> <p>水源めぐりの旅</p>  <p>平成6年度～23年度 までの18年間に 約13万3千人 中学1年生が参加 平成23年度は、 4,833人が参加</p>  <p>(注)香川県資料をもとに作成</p>	<p>ダム補給による 豊富な水量</p> <p>※ラフティングによる 集客数は3万人超</p> <p>子供交歓会 (早明浦湖水祭)</p>  <p>第30回早明浦湖水祭 四国の子ども交歓会</p>  <p>2022年8月28日(土)～29日</p>	

▲水源地域活性化の取組

川のトピックス

■「吉野川上流かわまちづくり計画」登録証伝達式の開催

(四国地方整備局 徳島河川国道事務所)

水辺空間を活かした県西部の更なる発展を目指して設立された「吉野川上流かわまちづくり推進協議会」による「吉野川上流かわまちづくり計画」が令和7年度のかわまちづくり計画に登録されたことに伴い、登録証の伝達式を下記の通り執り行いました。

■開催日時：令和7年8月29日（金）10時～

■開催場所：四国三郎の郷 交流体験室

■出席者：美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
市民団体、徳島県、国



四国三郎の郷での伝達式の様子

登録証の伝達では、安永徳島河川国道事務所長より、加美美馬市長へ登録証が手渡されました。

顧問である市・町長からは「かわとまちの融合による様々なイベントが開催され、さらなる地域の活性化につながるものと期待をしている」「護岸の階段が整備され、安全な形で安心して観覧ができるようになっていくということは非常に頼もしい」「かわまちづくりの計画の目的達成のために皆様方の持てる力を結集し、そして英知を出しながら、前向きに取り組んでいきたい」「安全で快適な水辺空間の整備を進める中で、地域の皆様や民間事業者の皆様などと積極的に河川空間を活用いただき、魅力あるまちづくりへとつなげていきたい」などの意見をいただきました。

＜吉野川上流かわまちづくり計画概要＞

位置図



公園外整備内容



公園内整備内容



■ 「にし阿波の花火」会場にて「吉野川上流かわまちづくり計画」の周知活動を実施 (四国地方整備局 徳島河川国道事務所)

水辺空間を活かし、県西部の更なる発展を目指して登録された、「吉野川上流かわまちづくり計画」に関する周知とアンケート調査への協力を呼び掛ける活動を、令和7年11月8日（土）に徳島県西部防災公園（三好市三野健康防災公園／美馬市美馬リバーサイドパーク）で開催された「にし阿波の花火2025」会場にて実施しました。

吉野川上流かわまちづくり
～水辺に暮らし、川の自然や文化を学ぶ多様な交流拠点づくり～

計画の実施に向けた取り組み

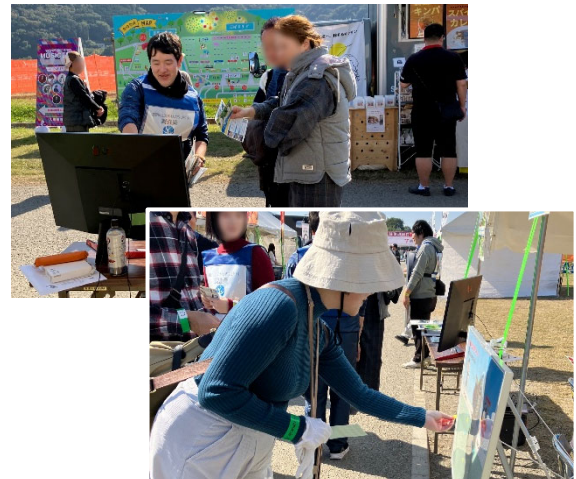
吉野川上流かわまちづくり推進協議会設立
本計画が定めたまちづくりの方向性を示す。関係団体や市民、事業者等と連携し、計画の実施に向けた取り組みを進める。計画の実施に向けた取り組みを進める。

高野川上流かわまちづくり推進協議会ホームページ開設
計画の実進状況や、計画の実施に向けた取り組みの進捗を、ホームページで公開する。

アンケートの目的
計画の実進状況や、計画の実施に向けた取り組みの進捗を、アンケートを通じて把握する。

アンケートの実施期間
令和7年11月8日（土）～令和7年12月31日（水）

回答方法
アンケート用紙を配布し、アンケート用紙に記入して回答してもらう。アンケート用紙は、会場に設置したアンケートボックスに投入する。



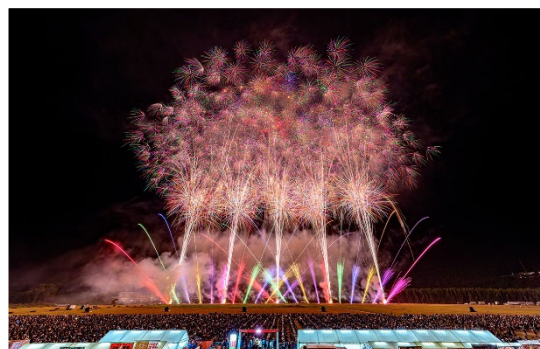
「吉野川上流かわまちづくり計画」に関する周知とアンケート調査への協力依頼の様子

「にし阿波の花火」は、令和元年に初開催された、西日本最大級の花火競技大会です。コロナ禍の令和2年～令和4年の中断を経て、令和5年より再開しています。その規模の大きさから毎回県内外から多くの来場者があり、今回は約3万5千人が夜空を彩る大迫力の花火を楽しみました。

「吉野川上流かわまちづくり計画」の周知活動は、花火が始まる前の午前11時～午後3時で実施し、チラシの配布やシールを使った簡単なアンケートなども行いました。アンケート調査は令和8年3月31日まで実施しており、結果は今後の吉野川上流かわまちづくり計画の参考資料として活用していく予定です。



来場の様子



夜空を彩る大迫力の花火



↑
アンケート調査
フォーム

■「吉野川津波対策工事 完成式典」～直轄10樋門～の開催

(四国地方整備局 徳島河川国道事務所)

平成22年度より工事を進めてきた、吉野川の津波対策工事が完成したことを記念し、徳島市川内町の榎瀬川樋門にて、「吉野川津波対策工事完成式典」～直轄10樋門～を、徳島県と徳島河川国道事務所の主催により開催しました。

■開催日時：令和7年11月24日（月）10時～

■開催場所：徳島市川内町 榎瀬川樋門

■出席者：衆議院議員、参議院議員、徳島市長、吉野川市長、藍住町長、徳島県、国



完成式典時の榎瀬川樋門

開催場所である榎瀬川樋門が完成したことにより、吉野川では計画規模での巨大地震に伴う津波への対策工事となる10か所の樋門工事が完了となったことを記念し、式典を開催しました。

当日は国会議員、徳島市長、藍住町長、吉野川市長をはじめとした来賓の方々から祝辞を頂いたほか、工事関係者、樋門操作人、地元関係団体等、関係者の方々にも多数ご出席をいただき、くす玉の開披をもって津波対策工事の完成を祝いました。

今後も、気候変動によりますます脅威を増す洪水や、南海トラフ地震に伴う津波から吉野川流域の安全を守るため、取り組みを続けてまいります。

「吉野川津波対策工事完成式典」開催の様子



豊口 四国地方整備局長



朝田 徳島県政策監
※徳島県知事代理



山口 衆議院議員



高橋 参議院議員



中西 参議院議員



式典開催前に披露された阿波踊り



吉川 参議院議員



原田 参議院議員



遠藤 徳島市長



高橋 藍住町長



原井 吉野川市長



安永徳島河川国道事務所長あいさつ

祝辞を頂いた来賓の方々



来賓の方々によるくす玉開披

■「吉野川水系熊谷第4堰堤工事」遠隔施工（試行）現場見学会の開催 （四国地方整備局 四国山地砂防事務所）

令和7年9月19日（金）に徳島県三好市東祖谷釣井地先において、遠隔施工（試行）の現場見学会を開催し、建設関係者など約50名の方々に参加いただきました。

四国山地砂防事務所では、河道閉塞等の危険を伴う状況下での災害復旧において、施工業者の安全性を確保することを目的とし、令和7年9月9日（火）～26日（金）に遠隔施工（試行）を当該地において実施しました。

遠隔施工（試行）では、数十メートル離れた遠隔施工操作室からオペレーターが建設重機の遠隔操作を行い、バックホウによる土砂掘削およびキャリアダンプでの土砂運搬までの一連作業を1人で実施することが可能であることを確認しました。また、遠隔操作中は、建設重機の作業エリア内への作業員の立入りを制限し作業を進めることが出来たため、現場内の安全性が向上したことを確認しました。

遠隔操作（試行）現場見学会では、オペレーターによる遠隔操作の見学、参加者の遠隔操作体験、建設重機の設備について説明を行いました。遠隔操作体験を希望された参加者には「危険な現場での安全性の向上」、「働く環境の改善」等について従来施工との違いを知っていただき、遠隔操作体験後は、「モニター越しだと遠近感が違い難しく感じたが、慣れれば使えると実感した」、「危険な現場で無人化できるならメリットは大きい」等の感想をいただきました。

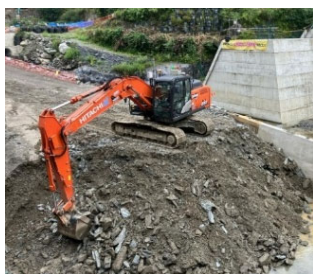
今後も、災害発生時の遠隔施工の活用を目指し、砂防現場における遠隔施工の実装に向けて取り組んで参ります。



遠隔操作室の状況



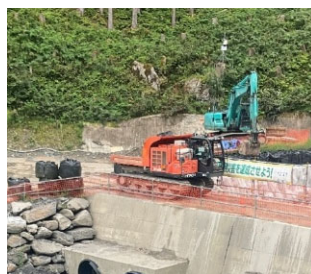
現場見学会参加者による遠隔操作体験



バックホウによる
土砂掘削



運搬用の建設重機への
土砂積み込み



キャリアダンプによる
土砂運搬



仮置き場への排土

■「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり（二期計画）」登録

（四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所）

「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり」計画は、早明浦ダム周辺地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、本山町、土佐町、大川村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取組を連携していく計画です。その中で「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、水辺など河川空間を活かして地域の賑わいの創出を目指します。

当計画は、令和3年に「かわまちづくり支援制度」に係る計画として新規登録されていますが、これまでの取組効果の継続と更なる地域発展のため、切れ目なく事業を継続することが求められていることから、令和7年8月1日に二期計画が登録されました。



「早明浦ダム周辺水辺利活用促進協議会」
登録証のお披露目

◆更なる活性化と賑わいの創出を目指して

「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり」は令和3年度から親水護岸の整備やカヌー等のアクティビティ運営などを進めており、雄大な自然を活かした様々な体験をお楽しみいただくことができます。

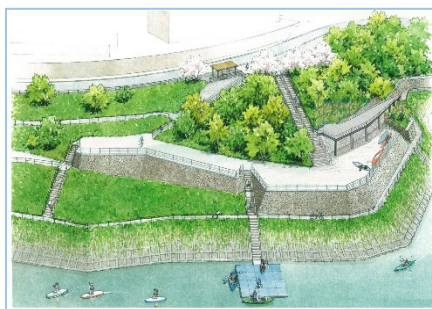
今回の二期計画の登録では、「水辺を活かしたスポーツ＆レジャーのかわまちづくり」をコンセプトに、利活用のニーズが高まっている早明浦ダムの湖面と周辺環境を積極的に活かすことで「スポーツ」「レジャー」「宿泊滞在」「インフラツーリズム」等を推進し、賑わいの創出と周辺地域の更なる活性化を目指します。

『ダムエリア（本山町）』



絶景が楽しめる展望台
キャンプ場に進化

『レイクタウンエリア（土佐町）』



スポーツ＆レジャー
体験の質や幅がさらに広がる

『村の駅エリア（大川村）』



遊覧船の運航 や釣り、カヌー、ボート、
SUPなどの利用がさらに充実



キャンプ場からの眺望



カヌー等の体験



観光遊覧船の運航

「早明浦ダム周辺地区かわまちづくり(二期計画)」のイメージ

■吉野川総合開発事業50周年式典、交流イベントの開催

(四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所)

◆吉野川総合開発50周年記念式典の挙行

令和7年に、吉野川総合開発事業の主要施設である早明浦ダム・池田ダム・新宮ダムが管理開始50年の節目を迎えることから、早明浦ダムや池田ダム等の恩恵を再認識して頂くとともに、水源地域と受益地域の相互理解を促進するため、11月16日（日）に、高知県本山町プラチナセンターにて吉野川総合開発50周年記念式典を挙行了しました。水源地域6首長をはじめ、受益地域首長、国会議員、県議会議員・議員、市町村議会議員、利水企業など約160名の方々に参加いただきました。

吉野川総合開発事業は、昭和20年代中頃から、戦後復興や新たな産業を興すことを目的とした水資源開発の機運の高まりを受け、事業実現に向けた検討が開始されました。その後、「四国はひとつ」という共通認識のもと、四国4県等関係機関の協力により、立場の違いを乗り越えた調整によって大きく進展し、恩恵を受ける地域の悲願であった吉野川総合開発事業が実現しました。

早明浦ダムを中核とする吉野川総合開発事業では、4県に農業用水・水道用水および工業用水を供給するとともに、ダムによる洪水調節と併せて吉野川下流で実施された築堤等の治水事業により、洪水被害の低減を図ってきました。

式典では、宮武水管理・国土保全局水資源部長、濱田高知県知事、池田香川県知事、中村愛媛県知事代理菅副知事、後藤田徳島県知事代理朝田政策監、金尾水資源機構理事長による主催者挨拶、国会議員からの来賓祝辞、笠井吉野川ダム統合管理事務所長からの管理経過報告のあと、各県代表者からの「感謝とメッセージ」をいただきました。式典の最後には、来賓の方々によるくす玉開披を行い、盛大に吉野川総合開発50周年を祝いました。



来賓の方々によるくす玉開披

◆吉野川総合開発50周年記念交流イベントの開催

式典後には、早明浦ダム直下ふれあい広場において「吉野川総合開発50周年記念交流イベント」を、土佐町主催の「やまびこカーニバル」と同時開催しました。四国地方整備局ブースでは、各ダム写真の展示や、VRゴーグルを付けて吉野川VRツアーを体験していただき、特に家族連れや子供達に人気でした。

また、吉野川に関連したクイズに正解することで四国4県の吉野川の水を使った特色有る景品が当たるクイズラリーを通して、ご来場いただいた方に水の恩恵を再認識していただきました。



交流イベント状況

■「石手川かわまちづくり」登録証伝達式の開催

(四国地方整備局 松山河川国道事務所)

令和7年8月27日(水)に、「石手川かわまちづくり」が国の支援制度に登録されたことを記念し、松山市市坪西町の石手川親水広場において「石手川かわまちづくり」登録証伝達式が開催されました。伝達式には、橋本愛媛県土木部長、野志松山市長、田中松前町長、内田東温市副市長、門田砥部町副町長に参加頂きました。

本計画は、河川管理者(国、愛媛県)と松山市が連携し、河川を活かした地域活性化を目指しており、河川敷にランニングやサイクリングに利用できる通路を設け、案内板やフットライトなどを設置する他、にぎわい創出に向け、カフェなど商業施設の誘致、マルシェなどのイベントができるようスペースを整備することとしています。また、子供達が自然とふれあいながら遊べる自然再生スポットも設ける予定です。

野志松山市長は、「石手川は長年憩いの場として親しまれてきた。今後も河川空間を活かした活性化に取り組みたい」と述べていました。



石手川親水広場での伝達式

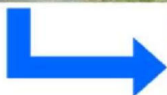
＜「石手川かわまちづくり」計画概要＞



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

＜「石手川かわまちづくり」による整備後のイメージ＞

◆ランニングコースの整備



※本図は計画段階のイメージであり、整備内容および配置等は今後の検討により変更となる場合がある。

◆多目的利用につながる整備

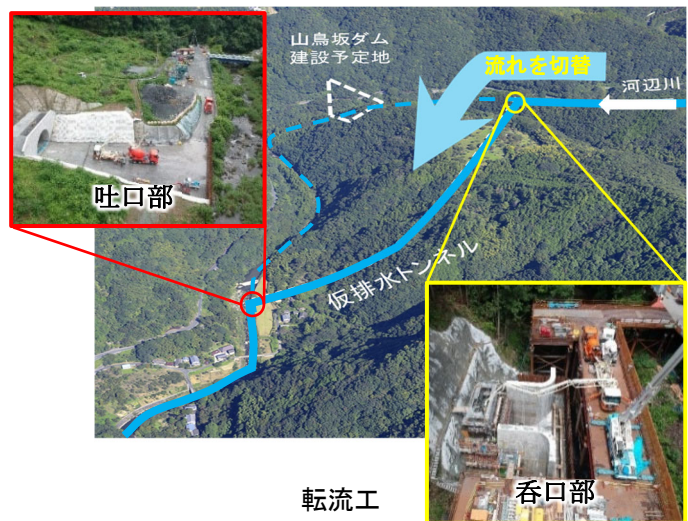


※本図は計画段階のイメージであり、整備内容および配置等は今後の検討により変更となる場合がある。

■ 「山鳥坂ダム建設事業」 河辺川の流れを転流 ～工事の安全を願って子供が作った船とともに～
(四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所)

令和7年7月29日(火)に山鳥坂ダム仮排水トンネル工事において、河辺川の流れを切り替える「転流」を実施しました。

山鳥坂ダム建設事業は、現在、本体工事着工に向け付替道路工事等を進めています。本体工事着手にあたっては、川の中にダム堤体等の構造物を造るため、施工のしやすさや工事中の安全などを考慮して工事区間に流水が無い状態にする必要があります。このため、一時的に川の流れを切替えるための「転流」を行う必要があります、この川の流れを切り替える仮設構造物を「転流工」と呼んでいます。山鳥坂ダムでは、転流工をトンネル形式としていることから、特に「仮排水トンネル」と呼んでいます。



当日は、行政関係者や工事関係者、およびマスコミ関係者など約100名が参加し、藤本山鳥坂ダム工事事務所長の合図とともに転流が行われました。河辺川の水は、仮排水トンネルの工事を担当している鹿島建設(株)の従業員の子どもたちが、今後のダム工事が無事故で完成することを祈念して作成した3隻の船と一緒に、仮排水トンネルを流れていきました。

山鳥坂ダムでは、今後本体基礎掘削等の本体工事に着手し、着実な事業進捗を図ってまいります。



当日の様子



藤本山鳥坂ダム工事事務所長 号令



転流工(呑口部)



転流工(吐口部)

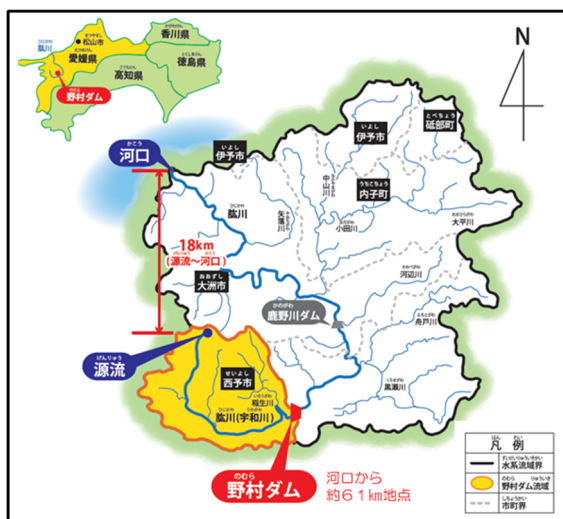
■「野村ダム堰堤改良事業」堤体貫通式の開催

(四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所)

肱川ダム統合管理事務所では、平成30年7月豪雨を踏まえた洪水調節機能強化の一環として、野村ダムに新たな放流設備を設置する改良工事を進めています。本事業は、事前放流で確保した容量を効率的に活用し、河川改修と相まって肱川の氾濫防止に寄与する重要な取り組みです。

令和5年6月の起工式以降、仮設工事や上流仮締切設備の製作・据付を経て、令和7年6月からダム本体に穴を開ける「堤体削孔工」を本格的に開始しました。そしてこのたび、運用中の堤体における削孔・貫通という難工事を無事達成しました。これにより、後続のゲート設備や放流管の設置に向けた準備が整いました。

この節目を記念し、令和7年12月7日（日）に、野村ダム下流右岸工事現場で「堤体貫通式」を開催しました。当日は、国会議員や地元市町長等、関係者多数が出席し、堤体貫通の達成を祝いました。



野村ダムの位置(肱川流域図)



野村ダム改良事業 完成イメージ図



関係者による除幕式の様子

■全国の水質が最も良好な河川として、仁淀川が選定

(四国地方整備局 高知河川国道事務所)

令和7年7月4日(金)に国土交通省が発表した令和6年全国一級河川の水質現況において、仁淀川が「水質が最も良好な河川※1」として、四国で唯一選定されました。

仁淀川は、水質が良好な河川として全国的にも認知されており、水質(BOD)が最も良好な河川の基準を過去10年間(2015～2024年)で6回達成しています。近年(2021～2023年)は、渇水等の影響により選定されていませんでしたが、2024年は4年ぶりに基準を達成し、水質が最も良好な河川に選定されました。

仁淀川流域は、「奇跡の清流」「仁淀ブルー」と呼ばれる良好な水質を有しており、仁淀川ならではの多くの観光スポットがあります。その中でも「にこ淵」は、仁淀ブルーの聖地として美しく幻想的な景色を見ることができるスポットとして注目度が高く、仁淀川流域を代表する観光スポットとなっています。

にこ淵周辺では、近年の観光客の増加に伴い、既存の遊歩道に加えて新たに勾配の緩やかな遊歩道が整備された他、公衆トイレも新設され令和7年3月より利用可能となっています。

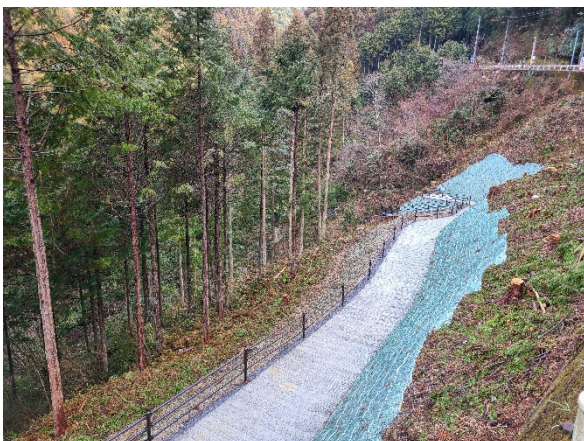


仁淀川 河口部



にこ淵

写真提供:いの町



新設された遊歩道(左)と公衆トイレ(右)

写真提供:いの町

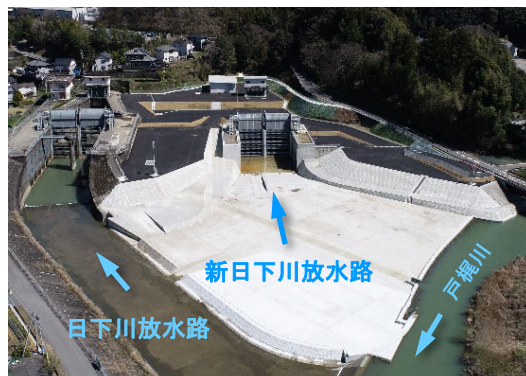
※1「水質が最も良好な河川」の定義は、対象河川 160 河川のうち、以下の両方を満たす河川

- ・対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全地点平均をとった値が 0.5mg/ℓ
- ・対象河川の各調査地点の BOD75%値について、全地点平均をとった値が 0.5mg/ℓ

■新日下川放水路『巨大な水のトンネルは未来へのトビラ。』

(四国地方整備局 高知河川国道事務所)

高知県高岡郡日高村に位置する新日下川放水路（令和6年3月完成）では、『巨大な水のトンネルは未来へのトビラ。』をコンセプトにインフラツーリズムに積極的に取り組んでおり、大雨が降った際に日下川の洪水を直接、仁淀川へバイパスさせる治水施設としてだけでなく、平常時から地域の活性化に資する観光資源として活用され、これまでも放水路を利用した見学ツアー、ダークキャンプ、クルーズ体験等が行われてきました。



新日下川放水路の呑口部

令和7年3月には、四国の直轄河川で始めて「都市・地域再生等利用区域」に指定（河川空間のオープン化）され、日高村を通じて放水路内でのツアーやマルシェ、イベントの開催等、民間事業者による営業が可能となったことで、更なる賑わいの創出が期待されています。

令和7年4月13日（日）には、日高村の主催で新日下川放水路の完成一周年を記念するイベントが開催され、たくさんの人で賑わいました。マルシェでは日高村のうまいもんが勢揃いし、ステージではよさこい踊りや日高中学校吹奏楽部による演奏、BMXやスラックライン、放水路トンネルガイドの無料体験も開催されました。



一周年記念イベントの様子

令和7年11月18日（火）の土木の日には、『四国地方整備局オフィシャル広報パートナー※1』の4人が新日下川放水路に全員集結しました。近隣の日下保育園の園児達と一緒に、mimikaさんが歌う「未来の地図」に合わせてダンスを踊り、その様子は「土木の日SNSアクション」としてSNSに発信されました。ダンスの後は、オフィシャル広報パートナーの皆さんを放水路トンネル内に案内し、そのポテンシャルを存分に味わっていただきました。その時の様子は四国地方整備局公式YouTubeチャンネルで公開していますので是非ご覧ください。これからも新日下川放水路が魅力あるコンテンツである事をどんどん発信していきます。



「土木の日SNSアクション」の様子

※1 『四国地方整備局オフィシャル広報パートナー制度』とは、社会インフラが果たす役割や社会資本整備の意義、建設産業の魅力等について、SNS等を通じてわかりやすく情報発信してもらい、四国における建設産業の担い手確保につなげることを目的として設置

■人と自然の共生する「ツルの里」をめざして ～四万十つるの里づくりの会と共に20年～ (四国地方整備局 中村河川国道事務所)

◆旅をするツル

ツルは大陸から越冬のために渡り鳥として日本に渡来してきます。特に、鹿児島県出水市では、世界に生息するナベヅルの8～9割が渡来して越冬しています。

しかし、あまりに多くのツルが一カ所に集中すると伝染病などによる種の絶命の恐れがあるため、過去より渡来記録のある四万十市など、出水市以外の地で越冬地を形成することが求められています。



ナベヅルの家族(2019年四万十市)

◆公(国土交通省中村河川国道事務所)と民(四万十つるの里づくりの会)の連携

中村河川国道事務所では、今年で設立20年になる『四万十つるの里づくりの会』と連携し、ツルが越冬できる環境を保全・創出する目的で平成14年よりツルの里づくりに取り組んでいます。

①ツルが利用しやすいねぐら・えさ場づくり

四万十川の支川の中筋川に、ツルの餌場やねぐらになる湿地を整備しました。また、多くの餌生物が繁殖するよう、生育に適した環境を整備したり、樋門の段差を解消したりしました。



②ツルとの共生に取り組む体制づくり

地域の皆さんにツルの保護活動への理解を深めてもらうため、自然体験学習会やお祭りを開催しています。



ツルを呼び込むためにデコイ(ツルの模型)を設置する小学生



つるの里祭りの開催状況

■大渡ダムで「仁淀ブルー体験博」コラボイベント

(四国地方整備局 大渡ダム管理所)

「仁淀ブルー体験博」とは、(一社)仁淀ブルー観光協議会が提供する様々な体験プログラムで、趣向をこらしたプログラムで仁淀川の魅力を伝えています。

大渡ダムでは、ダム湖周辺でお茶の生産等を行っている(株)ビバ^{さわたり}沢渡とコラボして、令和7年に初めて「仁淀ブルー体験博」に参加しました。作成したツアープログラムは大人気で、募集開始2時間強で定員32名に達し、キャンセル待ちが20名も出るほどでした。

■実施日：令和7年11月1日（土）

■ツアー：大渡ダム見学と茶霧湖で育ったお茶の飲み比べ

- ・大渡ダム：ダム見学、ダム湖クルーズ、ダムクイズ（ダムマスター認定証付き）
- ・ビバ沢渡：ランチ（あすなろ御膳（お茶づくし）＋沢渡茶飲み比べ）



ダム操作室見学



監査廊(堤体内)見学



ダム湖クルーズ



沢渡茶の飲み比べ

体験実施後のアンケートでは、「普段できない体験をさせてもらいとても満足」、「間近でみるダムの大きさに圧倒された」といった感想に加え、「ダムの恩恵に感謝」、「また来たい・また参加したい」などの声もあり好評でした。

当日に実施された、大渡ダムクイズのQRコードを掲載していますので、是非挑戦してみてください。



大渡ダムクイズ
(初級)



ダムマスター認定証の授与

■ 宮の前公園「コスモスまつり」 (高知県高岡郡越智町)

牧野富太郎博士の研究地として有名な越知町の横倉山では、毎年、「越知町コスモスまつり」が開催されています。

コスモスまつりは、昭和58年に当時の越知町助役が「横倉山にもっと多くの人が親しんでほしい」との思いから、横倉山の織田公園にコスモスを育て、そこで第1回目のコスモスまつりが開催されたのが始まりです。現在は、開催場所が横倉山と仁淀川に隣接する宮の前公園に移り、毎年10月上旬～下旬頃に実施されています。



宮の前公園のコスモス畑

約2.5ヘクタールの畑には約150万本のコスモスが咲き誇り、その光景を一目見ようと多くの観光客が訪れます。

令和7年のコスモスまつりは「によどかあにばる」と合同で、10月10日（金）から26日（日）まで開催されました。広大な畑を活かしたコスモス迷路などのブースや多数の屋台が出店し、ステージイベントなども行われました。

とても賑わいのあるイベントですので、次回は皆様も是非訪れてみてはいかがでしょうか。



「によどかあにばる」開催風景

か べ がわ
鴨部川

A wide river flows through a lush green landscape. In the background, there are traditional Japanese houses and a small bridge. The sky is blue with scattered white clouds. The river is surrounded by dense green vegetation, and the water appears calm with some small rapids visible in the foreground.

The map illustrates the Hamanaka River basin, a significant geographical feature in Tokushima Prefecture. It details the river's course from its upper reaches near Matsuyama down to its confluence with the Seto Inland Sea. The surrounding landscape includes coastal areas, agricultural fields, and urban centers. Numbered points of interest (1-13) highlight specific attractions such as parks, shrines, and historical sites. Infrastructure like roads and railways is clearly marked to aid navigation. The inset map clarifies the regional setting, showing the river's role in connecting different parts of the prefecture.

① おおくし 大串自然公園

「大串自然公園」は、瀬戸内海を一望できる大串半島の高台に広がる回廊式公園になっています。県道135号大串志度線で大串岬に向けて北上する途中には「バベ木の端展望所」があり、鴨庄湾を一望できます。半島の先端にある「野外音楽広場テアトロン」からの眺めも抜群で、徒歩で自由散策できます。園内の芝生広場展望台から見える景色は「四国八十八景」に選定されています。

大串半島活性化施設として2024年6月にオープンしたカフェ「時の納屋」では絶景とランチやスイーツなどが楽しめます。「COOL JAPAN AWARD 2025」インバウンド部門を2025年9月に受賞し、新たな観光拠点として多くの人で賑わっています。

「さぬきワイナリー」は、四国初のワイン工場です。入場無料で自由見学ができ、隣接の「さぬき市物産センター」ではワインの試飲や直販、特産品も販売しています。2階には瀬戸内海を一望できる無料休憩スペースがあります。

「シーサイドコリドール」は、オートキャンプ場で、家族やグループがゆっくり利用できるロフト付「コテージ」4棟、開放感のある「オートキャンプサイト」12面があり、「管理棟」ではレンタル用品も用意されています。眼下に瀬戸内海を一望できる場所に位置し、朝日が水平線から登る美しい光景を堪能することもできます。

【時の納屋】

- 営業時間:11時～16時(定休日火曜、年末年始)
※イベント開催時臨時休業あり(HP参照)
- お問い合わせ: ☎087-884-6010
<https://sanuki-sa.jp/tokinonaya/>

【さぬきワイナリー】

- 営業時間:9時～17時(定休日火曜、年末年始)
※10名以上の見学は要予約
- お問い合わせ: ☎087-895-1133
<https://wine.sanuki-sa.jp/>

【シーサイドコリドール】

- 休場日:火曜(火曜が祝日の場合は翌日)、夏季期間7月～8月(7月第1・2火曜を除き、無休)、12月末～2月末(3/1から営業開始)(※年末年始の営業はHP参照)
- 予約・お問い合わせ: ☎087-895-1150
受付時間:8時30～17時(詳細HP参照)
<https://sanuki-sa.jp/seaside-corridor/>



「四国八十八景」に選定された大串半島から望む穏やかな瀬戸内海の眺望



「大串自然公園」芝生広場にある展望台から見える小豆島



芝生広場にあるカフェ「時の納屋」の外観



「野外音楽広場テアトロン」からの眺望



「さぬきワイナリー」工場の外観



「さぬき市物産センター」の1階店内



「シーサイドコリドール」コテージの外観



「シーサイドコリドール」オートキャンプサイト



「バベ木の端展望所」から望む鴨庄湾※

※第二次世界大戦時に建造された護衛空母「しまね丸」の終焉の地

①



大串自然公園駐車場から約3.6km



②

② 貸別荘 清風菴

「清風菴」は、讃岐うどんに魅了されたオーナー^{こはた かずのり}木幡和徳氏が兵庫県から移住して、白壁の塀に囲まれた築90年の古民家をリノベーションし、2022年オープンした一棟貸しの民泊施設です。「清風菴」という名は、この場所に元々あった屋号だそうで、家を囲む白壁の塀、入口の南門、大きな山桃の古木がある庭園、江戸時代の文化11(1814)年に建造された石灯籠^{とうろう}はそのまま残っており、昔にタイムスリップした感覚になります。

滞在中は、家の中の縁側から庭を眺めながら、ゆったりとした贅沢な時間を堪能できます。また、讃岐うどん作りの修行を重ねたオーナーが開く「本場讃岐うどん手打ち体験」もできます。

周辺には自然豊かな田園風景がひろがっており、鴨部川河口の海岸までのんびりと散策したり、海釣りも可能です。好天時には満天の星空を眺めることができます。すぐ近くにある消防屯所の「警鐘台」は、旧護衛空母しまね丸の通信マストを再利用したもので、歴史を垣間見ることができます。

アクセスは、JR高德線志度駅・琴電志度駅から約5km、高松自動車道志度IC・寒川津田IC^{おおくし}から車で約12分の場所にあり、大串半島「大串自然公園」や小田湾^{おだ}「興津海水浴場」まで約4kmです。

【清風菴】※無料Wi-Fi完備

- 宿泊 一棟貸し：最大6名まで可
(ペット要相談)
- うどん手打ち体験：事前予約必要
(宿泊無しでも可)
- 予約・お問い合わせ：☎087-880-5148
対応時間：9時～17時(詳細HP参照)
<https://www.seihuan.com/>
- Web予約サイト(さぬき市清風菴で検索)
<https://www.airbnb.jp/>



「清風菴」入口南門の外観



「清風菴」隣接している庭園



「石灯籠」から見える田園風景



「清風菴」縁側から見える庭



手打ち体験で作った讃岐うどん



「興津海水浴場」東西600m続く砂浜



鴨部川河口から見える「大串半島」



道端に立っている旧護衛空母しまね丸の通信マスト「警鐘台」※もう1基は、高松市屋島「四国村」に保存されています



みやもと ③ 宮本果樹園

「宮本果樹園」は、さぬき市鴨庄松ヶ端にある八朔生産農家です。鴨庄郵便局から東へ450m、さらに北へ700m進んだ住宅街奥の高台にあり、期間限定で果樹園見学や生製品の購入ができます。

瀬戸内海の温暖な気候で育った八朔は、平賀源内の名にあやかり独自ブランド「源内八朔」として全国販売しています。肉厚で甘酸っぱく県内外からのリピーターも多くいます。その他、「紅八朔」や「デポコン」も栽培しています。12月に収穫したあと、5℃に温度管理された専用冷蔵倉庫で貯蔵し、熟成させてから出荷されます。

- 【宮本果樹園】※見学自由(1月～4月)
●営業時間:8時30分～18時(月～金)
●出荷期間:3月～4月(直売は現金のみ)
●お問い合わせ:☎087-895-2068
FAX:087-895-2069



果樹園で栽培されている八朔の木々



「宮本果樹園」入口にある看板



有機肥料で栽培している「源内八朔」

かべ ④ 鴨部神社

「鴨部神社」は、県道140号富田西鴨庄線の鴨部川に架かる赤い欄干が目印の「八幡橋」を西に入った森の中にあります。

天長6(829)年からこの地に鎮座しているという由緒ある神社で、祀られている祭神は、菅田別尊(応神天皇)・足仲彦尊(仲哀天皇)・息長足比売尊(神功皇后)です。神功皇后は日本神話において勝運をもたらす神として崇められていることから、受験やスポーツなどにご利益があるといわれています。境内奥には、願う方角に台座を廻して拝むと願いが叶うという「廻る神牛」の石像があります。

例年、夏越祭と秋季例大祭が開催され、キッチンカーなどが出店するイベントで賑わっています。



鳥居から西へ続く境内の参道



参道奥にある南向きの「随神門」



360度台座が動く「廻る神牛」の石像

⑤ のま 野間コスモスの里

さぬき市では、「美しい花のまちづくり推進事業」の一環で、市の花「コスモス」の認知度向上と緑化推進を目的に、コスモス栽培を行う団体に対して種子等の配布をしています。

「野間コスモスの里」は、地域の方々が休耕田を利用して整備しているコスモス畑で、例年10月下旬から11月下旬にかけて見頃を迎え、一面にピンク色の花が咲き乱れます。鴨部川に架かる「野間橋」から北側に降りると、目印の看板があり、西側の奥までコスモス畑が広がっています。無料駐車場もあり、畑の周囲をぐりと歩ける畦道を歩きながら鑑賞することができます。県道141号石田東志度線沿い野間池のすぐ南側にもコスモス畑があり、田んぼの真ん中を東西に長い直線道路が続いているので車窓からでも楽しめます。

コスモスの里からほど近い「乙井橋」下流左岸側には、「乙井の六地藏石幢^{おといせきどうまつ}」が祀られています。六角柱の石幢形式で、各面にほぼ同じ像形が刻まれています。建立時期は不明ですが長い年月にわたり地域の仏教信仰の拠り所とされ、その重要性から「市指定有形文化財」に指定されています。

また、鴨部川支川地藏川の西側、県道37号三木津田線沿いには、2022年にオープンした地元で大人気のサンドイッチのテイクアウト専門店「サンドハウスGift」があります。早朝から営業しているので、散歩途中に立ち寄ってみるのもおすすめです。

【サンドハウスGift】

- 営業時間：月・火曜 6:30～、土・日曜 9:00～（売切次第終了）
- 定休日：水・木・金曜
- お問い合わせ：☎080-4990-8539
https://www.instagram.com/sandhouse_gift/



「野間コスモスの里」の看板の奥に広がるコスモス畑



鴨部川左岸北側に咲くコスモス畑



野間池の南側に咲くコスモス畑



市指定有形文化財「乙井の六地藏石幢」



「サンドハウスGift」の外観



「乙井橋」から鴨部川下流を望む



⑥ 鴨部川アジサイ夢ロード

「鴨部川アジサイ夢ロード」は、鴨部川沿いで毎年6月初旬～7月上旬に約150株のアジサイが咲き誇る景観を堪能できるスポットです。

場所は、JR高徳線造田駅^{ぞうた}から徒歩10分、県道3号志度山川線の造田宮西交差点から東へ400m、鴨部川に架かる「片山橋」^{かたやまばし}付近の兩岸に咲いています。このアジサイの植栽は、2000（平成12）年に地元小学校の児童や地元の方々が「鴨部川の環境を守ろう」という想いから、アジサイで有名な香川県観音寺市「粟井神社」^{あわい}から苗を分けてもらい始めました。この活動は、2002（平成14）年度に国土交通省から手づくり郷土賞（地域活動部門）として表彰されています。地元の方々や児童たちにより水やりや手入れが続けられており、色とりどりのさまざまな品種のアジサイが咲き誇る散策路として、訪れる人々に季節の彩りを提供しています。（近隣には駐車場がありませんのでご注意ください。）

周辺には、千年以上の歴史を持つ由緒ある「造田神社」^{ぞうた}や遍路道沿いに四国霊場第87番札所長尾寺の奥の院「玉泉寺」^{ぎよくせんじ}があり、アジサイ鑑賞と合わせて、これらの歴史的スポットをゆったりと巡る散策も魅力的です。



片山橋から見える兩岸に続く「鴨部川アジサイ夢ロード」



右岸側から鴨部川を望む



左岸側から鴨部川を望む



「鴨部川アジサイ夢ロード」の看板



鉄道橋付近から鴨部川上流を望む



「造田神社」の参道に続く鳥居



藤の花で有名な「玉泉寺」



「片山橋」から讃岐山脈が見える鴨部川上流を望む



⑦ 四国霊場第87番札所 ながおじ 長尾寺

四国霊場第87番札所「長尾寺」がある街道は、江戸時代に高松藩によって整備された「讃岐五街道」の一つで、現在の県道10号高松長尾大内線の旧道にあたります。しずかごぜん 静御前ゆかりの寺としても知られ、古くから地域の人々に「長尾かんのんの観音さん」として親しまれてきました。

鴨部川に架かる「広瀬橋」から鴨部川の左岸には遍路道が続いており、「おへんろ道休憩所」も設置されています。休憩所前の「へんろ橋」を渡って南に1.3km進むと長尾寺がある街道にたどり着きます。

街道沿いの山門「仁王門」前には、国の重要文化財である石造の「経幢」きやうどうが左右一対で保存されてます。境内に足を踏み入ると、樹齢約800年の荘厳なクスノキが出迎えます。境内正面の「本堂」は、讃岐国高松藩初代藩主の松平頼重よりしげ（徳川光圀みつくにの兄）により建てられたもので屋根には葵の紋入りの丸瓦が残っています。本堂左の護摩堂の隣には源義経と悲恋の末に別れたしずかごぜん 静御前が自らの髪を埋めたと伝えられる「剃髪塚」ていはつづかが祀られており、古の恋物語を今に伝えています。

広い境内の西側奥に「納経所」があり、長尾寺名物の「甘納豆入りおはぎ」が週末限定で販売されています。午前中には売り切れになることが多いそうです。

【長尾寺 納経所】

- 受付時間：8時～17時
- お問い合わせ：☎ 0879-52-2041
<https://nagaoji.com/>



境内正面に「本堂」、左に「護摩堂」、右に「大師堂」



4mの大わらじがかかる山門「仁王門」



護摩堂の隣にある「静御前の剃髪塚」



鴨部川左岸にある「おへんろ道休憩所」



香川の保存木「大クスノキ」



長尾寺名物「甘納豆おはぎ」



鴨部川に架かる「へんろ橋」にある道標



「へんろ橋」から鴨部川下流を望む

⑧ 香川県立^{きかくこうえん}亀鶴公園

さぬき市^{なごみょう}長尾名にある「香川県立亀鶴公園」は、「宮池」「亀島」「鶴が山」から成り、池の周囲には遊歩道が整備され、自然林や野鳥を観察しながらの散策が楽しめます。

創建936(承平6)年の「宇佐神社」が鎮座している「鶴が山」と宮池に浮かぶ「亀島」を結ぶ長堤の兩岸には桜の大樹が立ち並び、シーズンになると大勢の花見客で賑わいます。宮池の南側の「花しょうぶ園」は約2万4千株の花しょうぶが植えられており、例年5月下旬から6月上旬に見頃を迎えます。

【香川県立亀鶴公園】

- 営業時間: 24時間営業
- 入園無料(無料駐車場有)



亀島にかかる堤防に植えられた300m続く「桜並木」



宮池南側にある「花しょうぶ園」



宮池西側にある「宇佐神社」の鳥居

⑧

亀鶴公園駐車場から約1.7km

⑨

⑨ つかはら 塚原から風呂

「塚原から風呂」は、県道279号三木寒川線の塚原交差点から西南に入る斜めの道に入り、看板を目安に750m進むと池の横に建物が見えてきます。奈良時代から続く日本最古のサウナで、服を着て頭巾をかぶり毛布にくるまって入ります。石室(浴室)の火入れは朝夕の2回で、浴室の温度は「あついほう」と「ぬるいほう」から選べます。

毎年11月11日(ととのえの日)に、今行くべき全国のサウナ11施設を選ぶ「サウナシュラン」で2024年の第10位にランクインしました。

【塚原から風呂】

- 営業時間: 12時～21時
- 休業日: 毎週 月・火・水曜
- お問い合わせ: ☎0879-52-1202
<https://karaburo0.webnode.jp/>



「塚原から風呂」の外観



から風呂の火入れ



石室内に入る入口の扉

⑨

塚原から風呂から約4.3km

⑩

⑩ さぬき市へんろ資料館

「さぬき市へんろ資料館」は、四国霊場の最終札所である大窪寺参拝の途中、さぬき市多和の県道3号志度山川線沿いにあり、^{たわ}遍路の歴史や文化に関する資料を収集・展示する施設となっています。

館内には、江戸時代からの^{おさめふだ}納札や^{のうきようちよう}納経帳など遍路に関する多種多様な資料を展示した「へんろ資料展示室」とお遍路さんの憩いの場である「交流サロン」があります。

へんろ資料館からは、^{けちがん}結願の寺「^{おおくぼじ}大窪寺」まであと一息です。大窪寺までの道は、下記の4コースがあります。標高774mの^{によたいさん}女体山を超えるコースや旧遍路道コースなど、どのコースも約3～4時間で歩けます。道沿いの史跡や自然にふれながら、本格的な巡礼の前のリハーサルにも最適とのことです。詳しい情報は、Webサイトや資料館でご確認ください。

~~~~~  
[資料館 起点コース] ※③④山道コース

- ① バス通りコース (車で20分・徒歩3時間)
- ② へんろ道コース (徒歩2時間50分)
- ③ 四国のみちコース (徒歩3時間30分)
- ④ 多和神社コース (徒歩3時間)

~~~~~  
※①②結願の郷・天体望遠鏡博物館経由
③④女体山経由 (④は途中で③に合流)

資料館の館長が、Webサイト (<https://take.ashita-sanuki.jp/>) で体験談や各種イベント情報等の発信も行っていますので、周辺を訪れる際には参考にしてみてください。

【さぬき市へんろ資料館】

- 開館時間：8時～16時(入館無料)
- 休業日：年末年始(12/30～1/1)
- お問い合わせ：☎0879-52-0208

【前山ダム管理事務所】

- ダムカード配布時間：9時～17時(土日祝含む)
- お問い合わせ：☎0879-52-3450

【多和産直 結願の郷】※へんろ休憩所

- 営業時間：9時～16時(土・日曜のみ)
- お問い合わせ：☎0879-56-2328
<https://kechigannosato.jimdo.com/>

【天体望遠鏡博物館】※結願の郷に隣接

- 営業時間：10時～16時(土・日曜のみ)
- お問い合わせ：☎0879-49-1772
<https://www.telescope-museum.com/>



「さぬき市へんろ資料館」の外観



入口ロビー奥に「交流サロン」を併設



「四国霊場のジオラマ」の展示物



「へんろ資料室」の入口



「へんろ資料室」の展示物



前山ダム手前「四国のみち」の案内板



県道3号線から女体山へ入る道標



駐車場から隣接する「前山ダム」貯水池を望む
(ダムカードは、前山ダム管理事務所にて配布しています)

⑩

さぬき市へんろ資料館から約50m

⑪

⑪ 道の駅ながお

「道の駅ながお」は、「さぬき市へんろ資料館」の向かいにあり、巡礼途中のお遍路さんが長旅の疲れを癒す場としても活用されています。休憩コーナーの他、地元の新鮮な野菜や特産品なども販売されています。

周辺は、前山ダム湖畔を望む緑豊かな山並みが広がっており、道を渡って階段を降りていく「前山ダム湖畔広場」は、自由に散策することができます。毎年4月には約500本の桜並木が見頃を迎え、大勢の観光客で賑わいます。

【道の駅ながお】

- 営業時間：8時～16時
- 休業日：年末年始（12/30～1/1）
- お問い合わせ：☎0879-52-1022

⑪

道の駅ながお駐車場から約8km

⑫



県道3号線沿いにある「道の駅ながお」



物産コーナーに並ぶ特産品



観光情報も入手できる休憩コーナー

⑫ のだや たけやしき 野田屋 竹屋敷

「野田屋 竹屋敷」は、春は桜、初夏はホテル、秋は紅葉、冬は名物の温泉を目当てに訪れる方が多い温泉宿です。温泉付日帰りプランもあり、地元の旬の食材を使った郷土料理、会席料理などが楽しめます。

隣接している「お食事処 はなみずき」は、うどんやそばの他、季節に応じたメニューが用意されており、お土産も販売しています。敷地内の四季それぞれの景色が楽しめる日本庭園も自由に散策できます。

【野田屋 竹屋敷】

- 受付時間：8時30分～21時
- お問い合わせ：☎0879-56-2288
- 宿泊詳細：下記公式HP参照
<https://takeyashiki.com/>

【お食事処 はなみずき】

- 営業時間：10時～16時
- 定休日：不定期

⑫

野田屋竹屋敷 駐車場から約3km

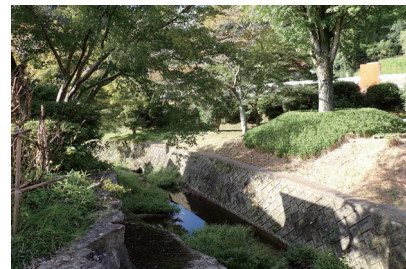
⑬



温泉旅館「野田屋 竹屋敷」の正面玄関



「お食事処 はなみずき」の外観



ゲンジボタルが生息する敷地内を流れる川

⑬ 四国霊場第88番札所 おおくぼじ 大窪寺

四国遍路の結願の寺、四国霊場第88番札所「大窪寺」は、徳島県境に近い矢筈山（標高約788m）の東側中腹にあります。「二天門」と呼ばれる山門を抜けて石段を上ると、正面に「本堂」と右手に「阿弥陀堂」が並んでいます。

本堂の手前を左に折れて「仁王門」に向かう途中にある「大師堂」の内部には、八十八ヶ所すべての小さな本尊が祀られており、お砂踏みして一周すると、同じご利益が得られると言われています。納経所で申込をすると誰でも入ることができます。

境内からは、「四国のみち」の遍路道に続いており、大窪寺奥の院や女体山頂上（標高774m）へ続く急峻なルートが伸びています。天候が良ければ女体山頂からの讃岐平野や瀬戸内海を一望できる絶景が広がります。

門前には、遍路客や観光客をもてなす飲食店や土産物店が軒を連ねています。地元の野菜や肉をたっぷり使った味噌仕立ての「打ち込みうどん」や「手づくりこんにゃく」などが名物となっています。

例年10月下旬から11月中旬は紅葉の見頃で、境内の大イチョウやモミジが秋の景観を楽しむことができます。

【大窪寺 納経所】

- 受付時間：8時～17時
- お問い合わせ：☎ 0879-56-2278

【八十八庵】

- 営業時間：8時～16時
- 定休日：12月30日、31日のみ
- お問い合わせ：☎ 0879-56-2160
<https://www.yasobaan.jp/about/>



境内正面に「本堂」、右に「阿弥陀堂」



「仁王門」に続く西側からの入口



本堂に続く南側の山門「二天門」



境内参道から「女体山」を望む



境内にある香川の保存木「大イチョウ」



門前にある「四国のみち」の案内板



八十八庵の名物「打ち込みうどん」



「二天門」から脇に降りて行く日本庭園の紅葉